



## 「心の奉仕で未来に夢を」

会 長 長 井 泉  
幹 事 草 野 興 三

RI グレンW. キンロス会長は「ロータリーの心を」と提唱されております。

このことばは、経済の先行を重視する現代社会において、人々に心の豊かさを呼び掛け、また、経済が発展し、生活レベルが向上したと同時に迎えた、環境破壊の時代への警鐘であるとも考えます。

国際ロータリーが創設されて、今年で92年となりました。

この92年という長い年月において、常に発展し続けているロータリーですが、国境を越えた奉仕活動と、また、奉仕の理想をもって結ばれたロータリアンの世界的親交によって支えられ、今日に到るのであると理解しております。

奉仕活動とは即ち、相手に謹んで仕えることを意味します。

相手を自分に合わせるのではなく自らが相手の為につくす。その行為は常に無償であり、その時に初めて、自らの心も豊かになる、それが真の奉仕といえるのではないかと思います。

本年度は、ロータリーの綱領である「奉仕」の原点を深くみつめ、その心を次世代へつないでいく、その思いを込めて、「心の奉仕で未来に夢を」を提唱して参りたいと思います。

立川こぶしRCも、歴代会長と会員の皆様のすばらしい親睦の輪と行動力とで地域の文化と共に成長し、今年、12年目を迎えることとなりました。

この一年間、諸先輩方の築き上げられた歴史を引きつぎ、更なるロータリーの発展に

貢献して参る所存でございます。

会員の皆様のご協力と、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、切にお願い申し上げます。